

平成 28 年度 第 4 回【部門 A】「再生可能エネルギーの大量導入を踏まえた構造改革」に関する研究会（質疑と議論）

「電力市場のあるべき姿 その過程について」 国松様(JEPX)

海外市場モデルに関する質疑と議論

- ・ 南部:いまのNordPoolのトップは？
- ・ 国松:ノルウェーの人
- ・ 安田:株主は4つのTSO
- ・ 国松:いまの電力ガス競争委員会が競争環境を整備したいのかわからない。EUの行政は口の出し方が日本ほどひどくない。
- ・ 安田:米国はナーク、パークス。EUはエンソEなど規制側がいい仕事をしている。日本は米国型かEU型か。いまのは経産省の傘下になっている。先物など出てきた時に監視庁だけで見れるかわからない。
- ・ 国松:8条委員会と3条委員会。資源エネルギー庁と経産省で委員会が被っている。司令塔が分散している。
- ・ 内藤:2010年のEU司令でTSOはエネルギーロス(3%)と調整電源は市場調達しなくてはならない。日本は6%ある。
- ・ 国松:小売事業者に100%の数字を出すために調達は103%買わなくてはならない。
- ・ 内藤:EUはTSOが送電ロスを負担することになる。昔は8%だったが、技術の発展でいまは6%。送電端から消費者までのロスをEUはTSOに負担責任があり、それを市場から調達する必要がある。⇨電力市場シェア上昇
- ・ 内藤:系統に対するインセンティブ(送配電ロスを抑えようとする)けど、日本みたいに小売に負担させてしまうとインセンティブが働かない
- ・ 南部:本当に3%も必要なのか？
- ・ 内藤:近所のコジェネから取るとロスが少ないのでは？
- ・ いい場所の発電機といい需要が近くても、ロスはそこまで変わらない。系統接続の発電と小売から接続料金を取ることで、新しいところに発電を作るインセンティブを働かせる
- ・ 内藤:東通原発のように長距離だとロスが多いのでは？間の変電所の数で。

- ・ 内藤：電力業界とコジェネで争った時に、コジェネはオンサイトで発電すると送電ロス分がないため得だとした。
- ・ 国松：系統の中で、どこに抵抗があるのかわからない
- ・ 内藤：米国で変電所の数と線の長さで計算する。米国はすべて情報公開している。
- ・ 国松：アンシラリー。nordal pricingでするなら、
- ・ 安田：nordal pricingは、エネルギー市場の解決方法、特に混雑問題。郵便切手方式にどこから来ても同じ料金としていたが、アンシラリーの価値をきっちり計算する必要がある。
- ・ 内藤：ドイツの分散電源が入ると、電圧がでこぼこ。その場合アンシラリーをどう調達するか？
- ・ 安田：風力ですらアンシラリーを出せるようになっている。
- ・ 内藤：ドイツではTSOがアンシラリーを調達する
- ・ 国松：少し遠い電力と隣同士のアンシラリー料金は同じ。需要側が100%負担。
- ・ 国松：正しい託送料金の取り方の議論が必要だが、だれが議論しているのか？電力会社がデータ持っているのか、どの委員会が議論の責任があるのか？

日本における電力取引活性化の施策に関する質疑と議論

- ・ 南部：原子力は安く仕入れることできるの？新電力でまともに入ってくるか？
- ・ 国松：原発は買いたい値段に規制する(保護)バーター取引。原発だけだと批判されるので、あとで石炭火力と水力が追加された。
- ・ 南部：原発が安く操作されると、高く売れるのでぼろ儲けになるのでは？
- ・ 国松：つまり、大手電力会社のぼろ儲けを新電力と分けるということ。特に石炭火力。
- ・ 南部：(報告書執筆者より：申し訳ありません。ここは聞き逃してしまいました)
- ・ 国松：新潟県、神奈川県など発電を売ってその代金が払われなかった新規参入者も多い。Xパワー(JLエナジー)も同じように稼ごうとしている。
- ・ 安田：これらを規制する官庁は？
- ・ 国松：賦課金払わないのは誰が監視する？訴える人がいないと捜査がない。だが、仕手筋や箱株取引や怖い人もいるので訴えにくい
- ・ 安田：ルールが雑、監視役が少ない
- ・ 松田：不正な取引は？

- ・ 国松:取引はまじめにやっているけど、後ろで何をやっているか？
- ・ 国松:託送料金の踏み倒し、電気需要家の差し替え、電気料金の契約者は誰でもいい。これが契約名義を会社に替えてもいい。需給契約が古いので、うちが払っとくからと言ってお金を全部預かって電力にお金を払わない。でも、電力会社が電気を止めようとする、需要者は払ったというので回収できない。2ヶ月の猶予の間に億単位のお金が集まる。
- ・ 国松:電気参加者は、太陽光が下火のときに自由化が起きたので、太陽光崩れが多いので、なかなか健全な市場が難しい

電気に付帯する価値に関する質疑と議論

- ・ 松田:ノースキャロライナは、長期クレジット義務付けで安定したが、RPSで電力会社が自分で達成するとクレジット市場が崩れた
- ・ 内藤:ビルや家庭のCO2排出が増えているのは、原発がなくなって石炭火力が原因。全体では排出は減っている。
- ・ 内藤:火力発電所に責任を持たせたから
- ・ 安田:非化石CO2電源構成市場はJEPXで？
- ・ 作れと言われたので作った。買う人は、安ければ買う。特にCO2、いまJクレジットは高い。
- ・ 安田:NordPoolは現物、金融商品を分けたけど、日本のJEPXは一緒にやっている？
- ・ 国松:先物どうするか？と言われるが、法律上今はできない。電力の先物は違うところが検討されている(トクム)
- ・ 安田:炭素市場は金融ではない？
- ・ 国松:金融ではなく作る。トクムは経産省OBでまだ先物ができない ⇨ 炭素市場をうちがやる

その他に関する質疑と議論

- ・ 安田:ベースロード電源市場について。先渡の活性をする前にこんなものを作るのか？

- ・ 国松:先渡を活性しない理由は、会員が固定に行くときに相対に戻る(シェア3%だと)
- ・ 安田:相対と現物の間だといえると思うけど。
- ・ 国松:ベースロード電源市場は1年ベース。先渡は正直やめたい。
- ・ 安田:先渡は現物が無いとできない?金融でないの。
- ・ 国松:先渡は現物がなくてもいい。先物と違くない、価格の設定をどの数値を根拠にするかの違い。
- ・ 松田:先渡は現物いるのでは?エンロンのように現物が100万円/kWhになって破綻。エンロンは物理的に送電線が混雑した。(もっとエンロンについて調べる必要あり)。スクイズ(悪意を持って)
- ・ 安田:現物持たなくてもいいならもっと参入するのでは?
- ・ 国松:会員制なので会員しか参入できない。大手電力はほとんど参入していない。

- ・ 南部:海外では電気料金が上がっている。国内で消費者の利益がプラスにならないけど、この市場の活性化は本当にいいこと?
- ・ 国松:電力をあまり使わない家庭の電気料金は上げなければいけない。
- ・ 南部:電気を使わない人には不幸な市場改革。
- ・ 国松:公衆街路灯は電気料金安い、産業用が安くて業務用が高いのか?学校も電気代安い。農業も安くしているなど利用目的によって変えていることを整理する必要がある
- ・ 南部:ある程度税金で回収するしかない
- ・ 安田:貧困対策と電気料金は混ぜるとおかしいという議論がある
- ・ 南部:高齢者や貧困者への手当が忘れられて電力システム改革が進んでいる。全然国全体の議論がない。3段階料金はたくさん使う人が得をする。
- ・ 国松:個人的には、託送料金を倍にして送電線を強化すべきと思う
- ・ 国松:津波後に電柱を建てたというニュースがあったけど、なぜという思い。送電についても、高速道路に並行して設置すればいい。
- ・ 内藤:国土ネットワーク的に電線が広がったのではなく、アメーバ状に広がった。
- ・ インフラだったら、国家的な取り組みが必要